

おくすり Q&A

がん悪液質って何ですか？

Q. がん悪液質って何ですか？

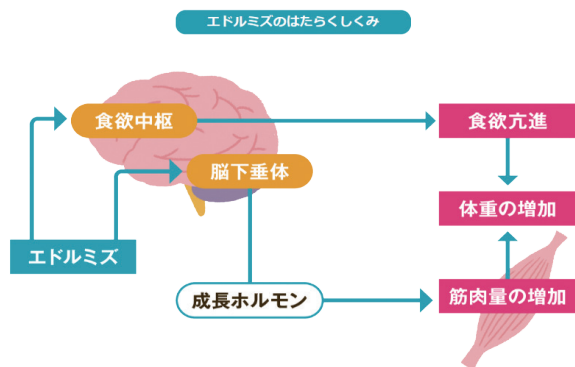
A. 基礎疾患に関連して食欲不振や体重減少、倦怠感など様々な症状が現れることを悪液質といい、中でもがんが原因となるものを「がん悪液質」といいます。がん悪液質では、がんから分泌される物質やがんに対する体の反応によって、**エネルギーの浪費**と**食欲不振**が起きるため、**体重が減少**します。また、立つ、歩く、座るなどの動作に必要な**筋肉(骨格筋)**が減少するため、**日常生活に支障**が出たり、**抗がん剤の副作用**が出やすくなり、**がん治療の継続が難しくなる**などの問題が起こる可能性があります。がん悪液質にともなう症状は、患者さんやご家族の努力だけでは改善が困難なため、適切な治療が求められます。

Q. どのような治療があるの？

A. **栄養療法**、**運動療法**、**薬物療法**、**心理的サポート**などを組み合わせた複合的な治療が行われ、食欲増進や体重減少の阻止を目指します。2021年1月に、日本では初となる**がん悪液質治療薬「エドルミズ錠 50mg」**が承認されました。

Q. どのような薬なの？

A. エドルミズは**成長ホルモンの分泌を促進し食欲を亢進**することで体重を増加させるお薬です。胃・大腸・肺・膵がんの方で、6か月以内に5%以上の体重減少と食欲不振があり、疲労や倦怠感、全身の筋力低下が見られる方が適用となります。



小野薬品工業 HP より引用

早期から治療を開始することで治療効果が高まると考えられています。使用に際して注意点もあるため、がん悪液質で悩まれている方はまずは医師、薬剤師に相談してみたいかがでしょうか。また、抗がん剤治療における食欲低下の対処法については、わたしの健康とくすり第289号に掲載していますので興味ある方はあわせてご覧ください。

執筆薬剤師 川上 真成

わたしの健康とくすり

第318号



撮影/加藤 哲教

今月の内容

- ・疾患シリーズ 慢性腎臓病の原因 《連載・第2回目》
- ・ちょっとお耳を…… お魚を食べよう！！
- ・おくすり Q & A がん悪液質って何ですか？

2022年7月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹
東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

慢性腎臓病の原因

今回は慢性腎臓病の原因についてお伝えします。

慢性腎臓病の原因はいろいろ

慢性腎臓病はタンパク尿か腎機能低 (eGFR<60ml/分) が3か月以上続く場合に診断されて、原因は様々です。

- ① 糖尿病、高血圧などの長年の生活習慣病が原因になる腎臓病
- ② 自分自身の免疫が関与して発症する慢性糸球体腎炎：IgA腎症、膜性腎症、血管炎など
- ③ 全身性エリテマトーデス、多発骨髄腫など全身性の疾患に伴って発症する腎臓病
- ④ 遺伝性の疾患：多発性嚢胞腎、アルポート症候群、ファブリー病など



更に、高齢化、肥満、喫煙、薬剤なども、上記の原因を助長する形で発症に影響します。慢性糸球体腎炎や、全身性疾患に伴う慢性腎臓病では、副腎皮質ホルモンや免疫抑制剤で治療しても腎機能が低下すると、糸球体は再生できないので慢性腎臓病になってしまいます。それでは、気を付ければ腎臓病の合併を予防できる糖尿病性腎臓病と、高血圧に伴う腎硬化症についてお伝えします。

糖尿病性腎臓病

現在日本で透析療法が必要になる末期腎不全の、原因の第1位は糖尿病です。糖尿病と診断されて、15~20年すると腎症を合併しアルブミン尿が出現すると言われており、定期的にアルブミン尿を検査することを推奨してきました。しかし、最近では糖尿病に対する治療が進歩しているので、アルブミン尿を認めないで腎機能が低下する腎臓病が増えており、アルブミン尿を認めるものも、認めないものも併せて糖尿病性腎臓病という病名も提唱されております。ですから、糖尿病の患者さんは、検尿のみではなく腎機能の検査も定期的に受けることを勧めます。

腎硬化症

高血圧を指摘されて、適切に降圧しないまま長期間経過すると、腎機能の低下を認めます。高血圧による腎障害の病名を腎硬化症と言います。現在、透析導入の原因の第2位です。前回、腎臓の組織で、血液をろ過する毛細血管からなる糸球体があることをお話ししましたが、この糸球体に過度の圧力がかからないように、糸球体に血液を流入する血管が収縮し、硬化性変化を起こすことで発症します。この疾患は、腎機能が低下してからも、血圧を適切 (130/80mmHg未満) に管理することによって、進行を抑制することができます。



次回は、慢性腎臓病を予防する生活習慣についてお伝えします。

ちょっとお耳を……

お魚を食べよう!!

皆さん、普段から魚を食べていますか?魚を食べれば頭が良くなるということを聞いたことがある人は多いと思います。その他にも魚を食べると健康になると聞いたことがある人もいます。よく体に良いといわれている魚ですが、魚の何が体に良いのでしょうか?

体に良いとされている成分…それはDHA(ドコサヘキサエン酸)!人間は体内でDHAを作ることができません。なので、DHAを摂取するために魚を食べることが重要です!それではDHAには一体どんな効果があるのでしょうか?

その1. 記憶力の向上!?

脳や神経組織の活性化をするため、**記憶能力**や**学習能力**を向上させるといわれています。



その2. 視力を回復させる!?

DHAは目にとってとても重要な栄養素で、目の成分の約40%程度を占めています。視力のサポートや回復をし、**近視**や**動体視力の改善**に効果があるといわれています。

その3. 生活習慣病の予防!?

コレステロールや中性脂肪を減少させる働きがあるので、血液をサラサラにし血栓ができるのを防ぐ効果があります。それにより、**動脈硬化**、**高血圧**、**高脂血症**、**脳梗塞**、**心筋梗塞**などの生活習慣病を予防できるといわれています。

その4. アレルギーの予防!?

アレルギー症状を促進させる物質の産生を阻害することにより、**アトピー性皮膚炎**や**花粉症**、**喘息**などのアレルギー症状を緩和する効果があるといわれています。



・・・お魚Q&A・・・

Q:どの魚に多く含まれているの?

A:マグロやサバ、サンマやイワシなどの**青魚**に多く含まれています。

Q:おすすめの調理方法は?

A:一番良いとされているのはお刺身等、**生で食べる**ことです。焼く・煮る・揚げるといった調理をすると、脂と一緒に溶け出してしまう、摂取できる量が減ってしまいます。ですが、**ホイル焼き**なら、流れてしまった脂を野菜と一緒に食べることができるのでおすすめです。

皆さん、魚のすばらしさは伝わったでしょうか?早速今日から「お魚生活」を始めましょう!